一般社団法人 日本食育学会

会長　　髙野　克己　殿

2023年度 日本食育学会認定 食育推進企業・団体

活動報告書　兼　継続申請書

本年度の食育活動につきまして以下のとおりご報告いたします。

西暦　　　　　年　　月　　日

|  |  |
| --- | --- |
| 企業・団体名 |  |
| 代表者（ふりがな） | 氏名：　　　（　　　）　役職： |  |
| 連絡担当者（ふりがな） | 氏名：　　　（　　　）　役職： |
| 連絡先 | 住所 | 〒 |
| TEL |  |
| E-mail |  |
| 日本食育学会会員の有無 | 　　賛助会員　・　非会員　　（該当に○印） |
| 主な食育活動（20～50文字程度） |  |
| 食育基本法（A）または食育推進基本計画（B）のうち該当するもの（あてはまるもの全てに☑印をつけてください。複数可。その他の場合はその内容をかっこ内に記載してください。） | □A1. 国民の心身の健康の増進と豊かな人間形成に貢献する活動□A2. 食に関する感謝の念と理解を深める活動□A3. 食に関する体験活動の実践□A4. 伝統的な食文化を体験し理解を深める活動□A5. 環境と調和した生産等を知り理解を深める活動□A6. 食料生産者との交流を通じて国産食料への理解を深める活動□A7. 食品の安全性の確保等における知識や理解を深める活動□B1. 食育に関心を持っている国民を増やす活動□B2. 朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数を増やす活動□B3. 地域等で共食したいと思う人が共食する割合を増やす活動□B4. 朝食を欠食する国民を減らす活動□B5. 学校給食における地場産物を活用した取組等を増やす活動□B6. 栄養バランスに配慮した食生活を実践する国民を増やす活動□B7. 生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩等に気をつけた食生活を実践する国民を増やす活動□B8. ゆっくりよく噛んで食べる国民を増やす活動□B9. 食育の推進に関わるボランティアの数を増やす活動□B10. 農林漁業体験を経験した国民を増やす活動□B11. 産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ国民を増やす活動□B12. 環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶ国民を増やす活動□B13. 食品ロス削減のために何らかの行動をしている国民を増やす活動□B14. 地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、伝えている国民を増やす活動□B15. 食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する国民を増やす活動□B16. 推進計画を作成・実施している市町村を増やす活動□B17. その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 主な食育活動内容について該当する上記A1～B17の項目番号を対応するように記載の上、右の※1～※3に該当する報告書・添付資料の種類を記載してください。 | 学術大会での発表の場合 ※1：学術雑誌での報告の場合 ※2：活動報告資料名（該当ページ）の場合※3： |
| 今年度の主な食育活動を簡潔に記載してください。（箇条書き可）※学会ホームページ等を通じて活動紹介をさせていただくことがございます。 |  |
| 認定ロゴマークの使用実績について記載してください。 |  |

本報告書は継続申請書も兼ねています。

来年度以降、継続する意思がない場合は　右のボックスにチェックを入れて下さい。

但し、継続意思がない場合でも報告書は提出してください。

なお、チェックがない場合は、継続申請したものとします。

※1 学術大会での発表は、A1～B17の該当項目番号を記載の上、発表代表者名、演題タイトル、発表年、開催地を記載してください。

例）A6: ○○育子ら「小学生に対する食育と～の取り組み」（2017）日本食育学会学術大会（東京）

口頭発表

※2 学術雑誌での報告は、A1～B17の該当項目番号を記載の上、筆頭著者「タイトル」雑誌名、巻、号、頁（年）を記載してください。

例1）B4: ○○育子ら「小学生に対する食育が～に及ぼす影響」日本食育学会学誌、xx巻、xx号、xx-xx頁（2017）

例2）我が社の食育「○○における○○の取り組み」日本食育学会学誌、xx巻、xx号、xx-xx頁（2017）

※3　活動報告資料は、CSRやCSVで代用することができます。A1～B17の該当項目番号を記載の上、食育活動が記載されている資料名とページ番号を記載してください。ホームページの場合はURLアドレスを記載し、代表されるページのコピーをA4サイズ1枚程度添付してください(PDF可)。

　 例） A1, A3: こども料理教室（ちらし）